



何かと誘惑してくる母さんに
僕の理性も限界です。

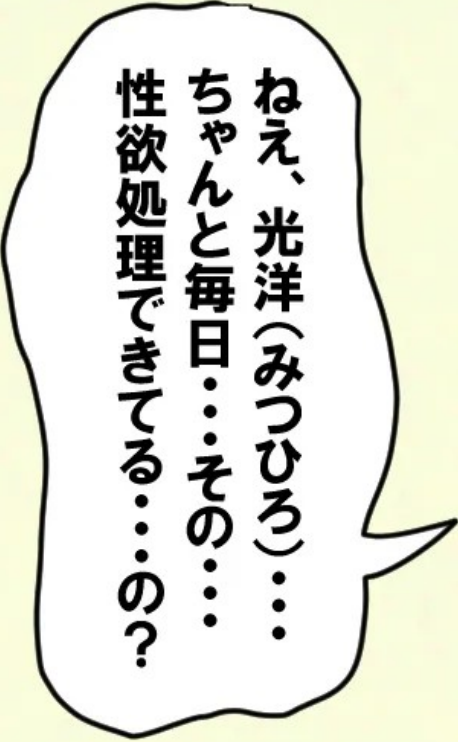
何かと誘惑してくる母さんに
僕の理性も限界です。

僕の母さんは
何かと僕を誘惑してくる。
本人はその気はないのかもしれないが
ときどき、母さんの中に「女」を感じて
勃起してしまう。
それはまずいことだと思っていた。





しかし、ある日、事件は起こった。



ねえ、光洋（みつひろ）……
ちゃんと毎日……その……
性欲処理できてる……の？



え？
えええ？
そりゃあ……僕も男だし……
自分でなんとかしてるけど……
突然どうして？

自分でどうにもならないときは…ね。
母さんに言いなさい





もう。全部言わせないで。



え？それはどういう意味…



じじじじじじ！



つまりね…



そうして、僕と母さんは禁断の一線を越えてしまったのだ。

んあああっ！
母さんっ！
気持ちいいっ！
やばいよっ！





そしてその日、
親子としての最後の一線も

ぴちゅん...

うん... 714...

ん... 光洋... ああ
そうよ... そのまま、押し込むの。

あっけなく越えた。

ずる... ずる... ずる...

あああああつ!!!
光洋っ!
光洋が母さんの膣に入ってくる!

私…今…
息子にペニスを挿入されてる…



ああ…すごい…
これがセックスなんだね…母さん…



ああ…気持ちいい…
光洋…光洋…!!





ひあああっ!!!

そうして僕は初めてのセックスで
母さんの膣内に射精した。

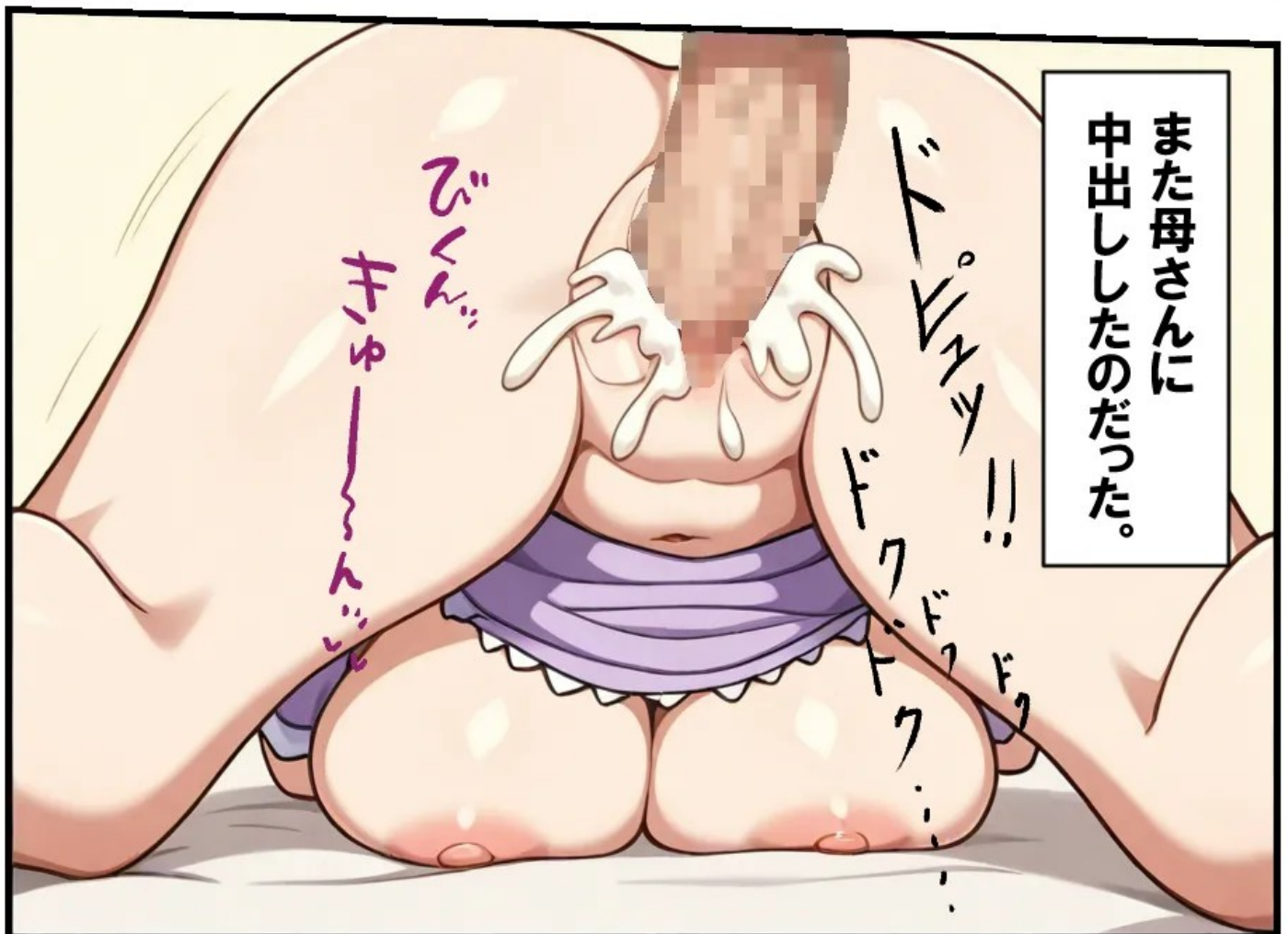
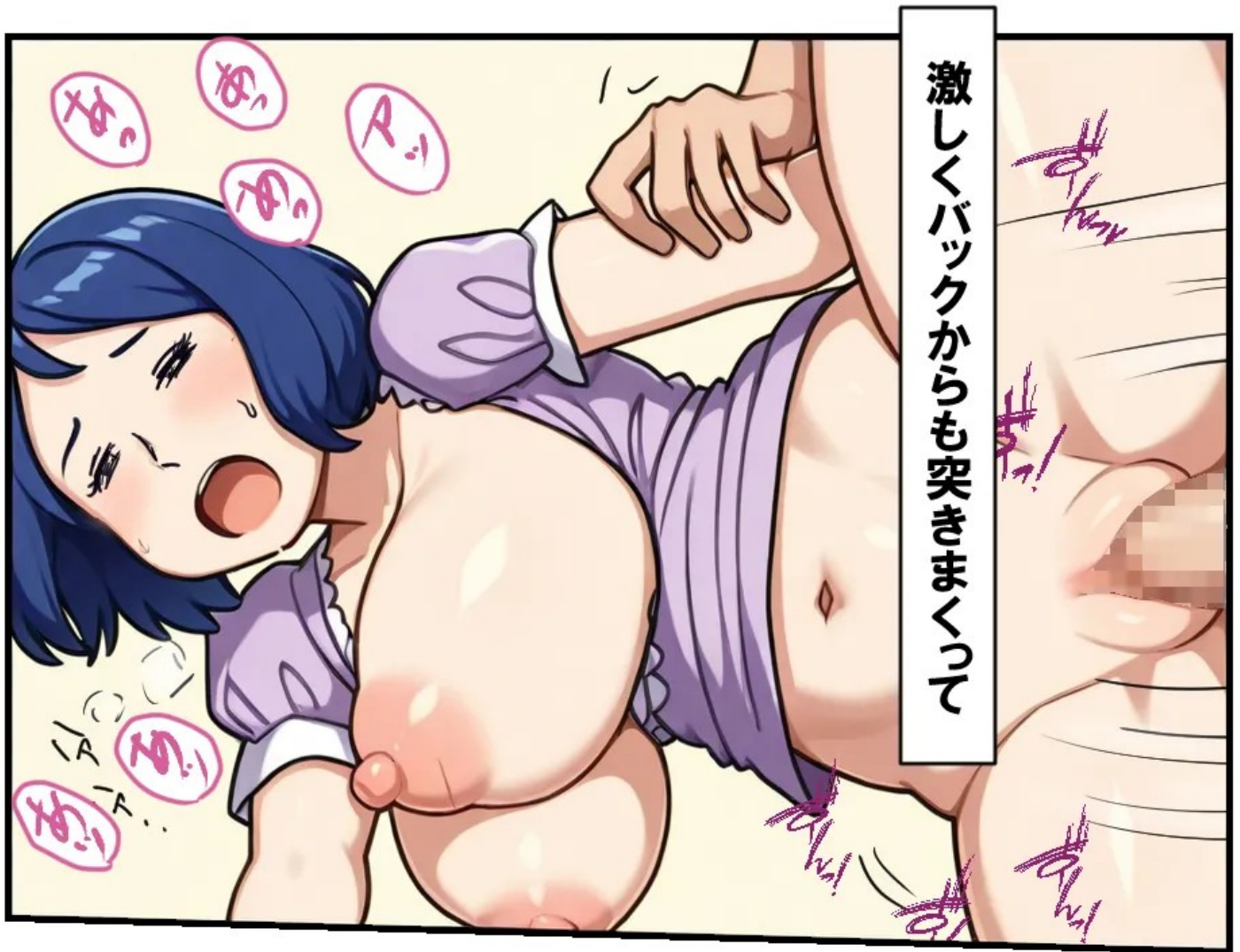


そして、そのまま騎乗位でも中出しして…

母さんっ！
母さんっ！

光洋お…っ！





そんなことがあってからは、
朝目を覚ますと、
母さんが僕の上にまたがっていることが
多くなった。

え？あ……え？ひょっとして……入ってる？！





そして母さんは僕と事実上の恋人になり

父さんが出張の日は
僕のベッドで過ごすようになったのだ。

終